

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年45週 (11月1週 11/5 ~ 11/11)  
2012年10月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎、風しん

### 定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、溶血性レンサ球菌感染症、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(36)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(2)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、梅毒(1)、風しん(4)

2012年9月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 感染性胃腸炎(図1)

45週の定点(小児科182定点)当たり報告数は6.44、44週778人、45週1,172人(1.51倍)です。

#### 【参考ページ】

胃腸カゼ、嘔吐下痢症の集団発生(ノロウイルス感染症)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/nlv.html>

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

### RSウイルス感染症(図2)

45週の定点(小児科182定点)当たり報告数は0.77、44週127人、45週140人(0歳46名、1歳51名、2歳23名、3歳10名、4歳10名)で、2歳未満の報告数が全体の69%を占めています。

#### 【参考ページ】

RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

<注目すべき感染症> RSウイルス感染症

(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-idwrc/2662-idwrc-1236.html>

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図3)

45週の定点(小児科182定点)当たり報告数は1.40、44週157人、45週255人(1.62倍)です。

#### 【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

<注目すべき感染症> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-idwrc/2252-idwrc-1220.html>

### マイコプラズマ肺炎

愛知県の45週の定点(基幹14定点)当たり報告数は1.71、44週26人、45週24人(0.92倍)です。

#### 【参考ページ】マイコプラズマ肺炎

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/mycoplasma.html>

### 風しん

愛知県の2012年報告数は、11月14日現在87名(男69名、女18名)です。2010年、2011年の総報告数はそれぞれ3件、13件でした。87名のうち12名は、当初麻しんが疑われPCRにて風疹ウイルスが検出されました。なお、全国の2012年報告数は、11月7日現在1,960件で、全数報告となった2008年以降最多となっています。

平成24年度の麻しん風しんの第2・3・4期予防接種対象者は、第2期：平成18年4月2日～平成19年4月1日に生まれた者、第3期：平成11年4月2日～平成12年4月1日に生まれた者(中学1年生相当)、第4期：平成6年4月2日～平成7年4月1日に生まれた者(高校3年生相当)です。未接種者は早めに接種しましょう。

#### 【参考ページ】麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

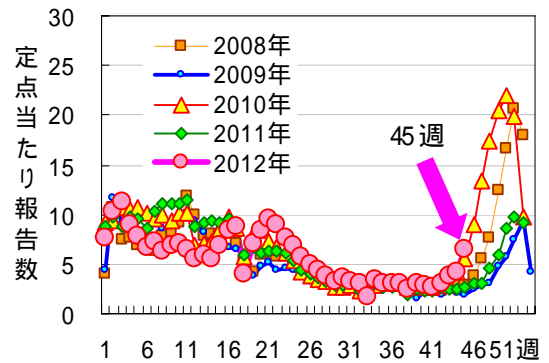


図1 感染性胃腸炎

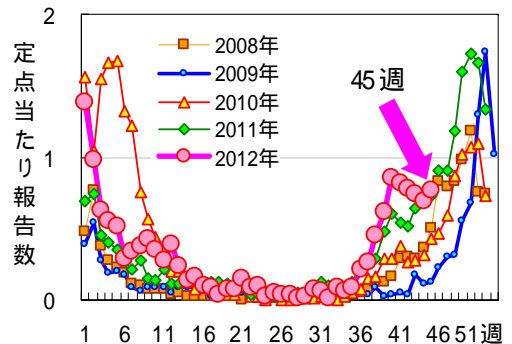


図2 RSウイルス感染症

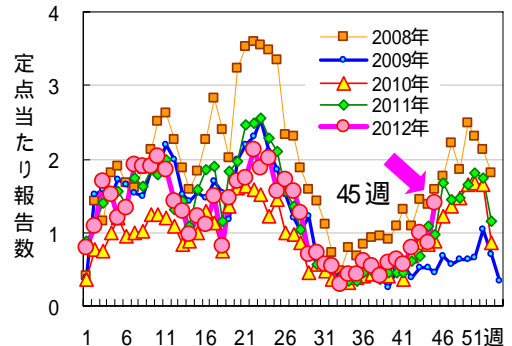


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

7歳男 カンピロバクター腸炎  
 【一宮市 あさのこどもクリニック】  
 マイコプラズマ感染症 3名  
 【一宮市 ささい小児科】  
 大人の喉頭炎が目立ち、2歳以下でRSが6名  
 ありました。  
 【犬山市 武内医院】  
 溶連菌感染症急増しました。  
 感染性胃腸炎も増加しています。  
 【江南市 みやぐちこどもクリニック】

溶連菌感染症散発  
 水痘続発  
 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
 マイコプラズマ感染症  
 11歳女、13歳男、24歳女、7歳女、37歳男、  
 7歳男  
 33歳男 病原大腸菌(O6)検出されました。  
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症、少し増えてきました。  
 その他水痘、突発疹等、嘔吐、下痢症状での  
 受診が増えてきたようです。  
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
 感染性胃腸炎が急増しています。RS、マイコ  
 プラズマは減少しています。  
 【小牧市 志水こどもクリニック】  
 RSV 感染症続発中  
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
 RS ウイルス感染症依然続いています。  
 【春日井市 春日井市民病院】  
 感染性胃腸炎が増加してきました。  
 【春日井市 かがわこどもクリニック】

感染性胃腸炎が増えています。  
 【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
 RSの流行は続いています。  
 感染性胃腸炎が増えてきました。  
 【小牧市 小牧市民病院】  
 ウイルス性の胃腸炎が少し増えてきてい  
 るようです。  
 りんご病様のウイルス性発疹症がありました。  
 【大府市 まえはらこどもクリニック】  
 RS ウイルス感染症 (2名ともに1歳)  
 A群溶連菌感染症が目立ちました。  
 【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 9歳女  
 イムノエースアデノ(+) 5歳女  
 イムノエースRSV(+) 3か月女  
 鼻腔培養にてGAS(+) 3歳男  
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
 マイコプラズマ肺炎(5歳男、9歳男2名、  
 8歳女、3歳女、4歳女、6歳女)  
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
 マイコプラズマ 8歳女  
 【岡崎市 にいのみ小児科】  
 マイコプラズマ肺炎 9歳女 2名  
 特に目立った流行なし  
 【岡崎市 花田こどもクリニック】

RSV 感染症散見されます。  
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
 マイコプラズマ気管支炎 5件(3歳、5歳、  
 6歳、9歳、11歳)  
 【刈谷市 田和小児科医院】  
 おたふく 8名  
 1つの幼稚園で流行  
 【知立市 宮谷クリニック】  
 アデノウイルス感染症 4歳女  
 【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

RS ウイルス感染症とA群溶連菌感染症が  
 時々います。  
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
 マイコプラズマ肺炎 3歳男、4歳女、1歳男  
 【豊橋市 医療法人野村小児科】

ノロ(+)の胃腸炎増加中  
 アデノ(+)の扁桃炎増加中  
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】  
 病原性大腸菌O125 11か月女  
 【豊川市 ささき小児科】  
 1~2カ所の保育園にて溶連菌感染症が流行  
 【田原市 かわせ小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年11月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2012年45週報告数			2012年累計(1～45週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	17	2	4	691	164	178
豊田市				70	15	30
豊橋市				59	14	15
岡崎市	4	2		63	23	17
一宮	4	1	1	111	27	24
瀬戸	4		1	103	21	28
半田				56	21	17
春日井	2	1	1	90	27	12
豊川				67	18	20
津島	2			76	16	13
西尾	2	1	1	37	10	10
江南	1	1		59	15	15
新城				8	3	3
知多				70	28	20
師勝				31	11	7
衣浦東部				84	28	18
合計	36	8	8	1,675	441	427

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	64歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	46歳	女	腸管外アメーバ症	性的接触	国内
2	豊田市	34歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	38歳	女	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	豊川	51歳	男	古典型

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	59歳	女	晩期顕症	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	35歳	男	不明	国内
2	豊川	26歳	男	不明	国内
3	知多	38歳	男	不明	国内
4	衣浦東部	40歳	女	不明	国内

2012年10月報 (2012年11月14日現在、診断週に基づく集計)

10月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( )は無症状病原体保有者再掲。 ]

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2012年10月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	93 (16)	58 (16)	151 (32)	1,635 (417)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	3 (0)	0 (0)	3 (0)	13 (1)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	7 (3)	5 (3)	12 (6)	146 (55)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	1	2
	A型肝炎	1	0	1	7	4
	チクングニア熱*	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	1	1	1	3
	デング熱	2	1	3	13	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ポツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	3	6
	レジオネラ症	3	5	8	43	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	3	5	8	48	41
	ウイルス性肝炎	0	0	0	10	11
	内訳 B型	0	0	0	10	8
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	2	2	4	16	12
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	9	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	10	14
	後天性免疫不全症候群	1	2	3	101	126
	内訳 無症候性キャリア	1	1	2	63	73
	内訳 AIDS	0	1	1	34	50
	内訳 その他	0	0	0	4	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	0
	梅毒	2	3	5	33	44
	内訳 無症候	1	1	2	18	19
	内訳 早期顕症	1	0	1	11	21
	内訳 晩期顕症	0	2	2	4	4
	破傷風	0	0	0	4	7
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	3	0
	風しん	6	2	8	83	13
	麻疹	1	1	2	38	32
	総計	126	85	211	2,222	2,605

\*2011年2月からの報告対象疾病

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年10月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	95	85	180	1,378	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	36	24	60	583	632
	尖圭コンジローマ	26	12	38	306	344
	淋菌感染症	34	36	70	532	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	27	114	1,126	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0	4	95	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

\*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



愛知県感染症情報

2012年45週(2012年11月5日～2012年11月11日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	インフルエンザによる入院患者
計	2	86	18	196	792	82	2	2	78	1	1	58	0	9	0	0	24	0	0
～6ヶ月		15			8				2										
～12ヶ月		14	1	1	47				26										
0歳																	1		
1歳		32	4	7	117	8			40		1	1							
2歳		14	3	5	87	10			9			7					1		
3歳		7	5	17	112	16		1				7	1				1		
4歳		4	1	25	84	12	2		1			15					3		
5歳			3	38	69	17		1				6	1						
6歳			1	24	45	6						4							
7歳				20	35	3						5							
8歳				18	25	2						5							
9歳				11	15	3						5							
5歳～9歳																	5		
10歳～14歳				23	52	4						2					8		
15歳～19歳				1	11														
20歳～				6	85	1				1		1							
20歳～29歳	1																2		
30歳～39歳	1												3				1		
40歳～49歳													2						
50歳～59歳																			
60歳～69歳													1				1		
70歳～													1						
70歳～79歳																			
80歳以上																	1		